

# 永野小 学校運営計画（中期学校運営計画）

## 計画期間

平成18年12月1日～平成23年3月31日（20年2月改訂）

## 学校教育目標

〔共生〕豊かなかかわり合いを通して、共に生きる子を育てます。  
〔個性〕自分のよさを生かし、自信をもって生きる子を育てます。  
〔自立〕社会性を身につけ、主体的に自己実現を図る子を育てます。

## 学校経営方針

教師の授業力、学級経営力を高め、子ども・保護者・地域からの信頼が高まるよう努力します。  
内部・外部の評価を充実させ、その結果を学校経営に生かします。  
まちからの学びを充実させるとともに、積極的に学校を開き、地域の方々の力を学校教育に活用します。

## 指導の重点

どの子にとっても分かる楽しさやできる喜びが味わえる授業づくりに努めます。  
子どもたちに豊かな人間関係づくりの力が身につくよう仲間づくり・学級づくりに努めます。  
まちとの連携を基盤にした、生活科・総合的な学習の充実に努めます。

## 改善の視点

## 取組目標

- 1 確かな学力の定着を目標に、教科等の指導の充実を図る必要があります。

学年研の充実  
「永野塾」の定着・充実  
学力向上の手立て  
重点研究の活性化  
特別支援教育の充実

低学年の子どもたちの学習や活動が充実するよう、20年度以降も「低学年サポート」の非常勤講師の確保に努めます。教材研究や授業改善のための学年研究会を充実させるため現在週2回の学年研究会を確保するように努めます。平成15年度から実施している夏期休業中の「学習チャレンジ」は今年度は耐震工事のため実施できません。校内研究の時間以外にも、教師間での授業公開を計画的に行い、授業力の向上を図ります。今年度実施の学習状況調査では、各学年・各教科とも、ほぼ横浜市の傾向と同様でしたが、本校児童の傾向の分析を通して指導の重点化を図ります。特別支援校内委員会を中心にして、個別教育・特別支援教育の充実を図ります。

- 2 「なかよく かがやき のびゆく子」の達成に向けて、子どもたち同士の豊かな人間関係づくりを推進する必要があります。

集団づくり  
たてわり活動の多様化

教師と子ども、子どもたち同士がふれあう時間を確保し、子ども理解を深めるとともに、教師と子ども、子どもと子どもの信頼関係がしっかりできるようにします。子どもたちが、学級目標に基づいた豊かな集団づくりができるための指導・支援ができるよう教師の力量を高めます。「たてわり活動」を推進し、日常的に「たてわり」のふれあいを定着させることで、異年齢の子どもたちの人間関係を豊かなものにしていきます。

3 家庭や地域と連携しながら、子どもたちの意欲に基づいた活動の充実を図る必要があります。

指導者の確保  
地域人材の発掘  
ふれあいコンサートの充実

現在4年生以上の児童が参加している特別クラブを、内容によっては3年生まで参加枠を広げ、できるだけ多くの子が「自分がやりたい」と思う活動に参加できるようにします。  
特別クラブの指導者を教員に限定せず、地域の方や関係者などの中で、できるだけ専門的な人材にお願いし指導の充実を図ります。  
活動の発表や参加できる機会をできるだけ確保して、活動の成果が実感できるようにします。

4 「まちから学び、まちとともに歩む」ことを基盤にした学校づくりの推進を図る必要があります。

総合的な学習を軸とした学級づくり  
地域との連携のもとでのニコフェスの充実

まちを題材にした総合的な学習の充実を図るとともに、生活科など教科学習で積極的に「まちの先生」の協力を得るとともに、地域の方々とのふれあいを大切にします。  
地域の方への協力をお願いして実施してきた夏休みの「体験チャレンジ」教室については、今年度に限り耐震工事で実施できません。来年度は実施いたします。

5 子どもにとって安心・安全な学校づくりを推進する必要があります。

保護者からの要望が強いメール配信システムの導入  
永野小サポーターズの活動の全校展開

平成18年10月から始まった「校内パトロール」を、今後もPTAの皆さんのご協力をいただきながら、「学援隊」としての定着と拡充を図ります。  
登校後の子どもたちの安全を確保するために、各門の施錠を確実にして、「不審者」侵入対策の強化を図ります。  
緊急時の各家庭への連絡については、平成19年度中に運用を開始します。  
「永野小サポーターズ」や地域・保護者の方々のご協力をいただきながら、今後とも登下校時の見守りの充実と「こども110番の家」の拡大を図ります。

人材育成の考え方

今後増加が予想される新任教員・若手教職員の育成のため、教育委員会主催の研修を活用するとともに、校内研修の充実を図ります。  
若手教員の授業の力・学級経営の力を高めるための自主授業研究組織「永野教師塾」の充実を図ります。  
学校行事推進に当たっては職員の意欲を重視したプロジェクトチーム方式を取り入れ協働意識を基盤にした取組を推進することにより、学校の活性化を図ります。

これまでの取組結果

学力の充実：永野塾の充実とともに1時間1時間の学習をより豊かな学びを保証しようとする意識は高まってきている。  
人間関係づくり：縦割り遊びの時間を意図的に設定したり、運動会の座席を縦割りにしたりすることで、日常的にその活動が広がってきている。  
家庭や地域との連携：総合学習に多くの地域の方が加わってくださるのは今も続いている。  
まちとともに：体験チャレンジ教室は教室数・参加者ともに更に充実してきた。  
安心・安全：校内パトロールが定着し違った視点からの安全に対する提言もされるようになった。  
1年ごとに多くの異動が見られる昨今、前年度の成果をそのまま次年度へ引き継ぐことは大変難しい。毎年初心に返って改めて取組を進めていきたい。

平成20年度の  
重点取組項目

教師の授業力を高め、子どもたちに確かな学力の定着を図ります。  
教師の学級経営力を高め、子どもたちの人間関係づくりの力を伸ばします。  
永野小学校の職員全員で子どもたちの理解を深め、子どもたちにとって安心・安全な学校づくりを推進します。  
子どもたちが進んで遊びや運動に取り組み、自然に健康増進や体力向上が図られるよう、特別クラブや「キラキラタイム」の活動の充実を図ります。  
耐震工事に伴って多くの影響があるが、子どもたちや地域の安心安全を第一に進める

学校懇話会から

平成20年2月23日に学校懇話会を開きました。  
総合学習を通して地域の方々とのふれあいができ、ふだん街で会っても明るくあいさつをしてくれる子が多く、とても喜ばしい。  
お菓子屋をしているが、いろいろな相談に子どもたちがやってくる。低学年の子は時間の感覚がなく遊びながら登下校している。  
子どもたちが地域の公園に姿を見せない。やはりゲームをしているのか。地域では防犯活動を重視している。